

えろ♡めるへん

まんだ林檎

西遊記外伝

水恋華

すい

れん

か

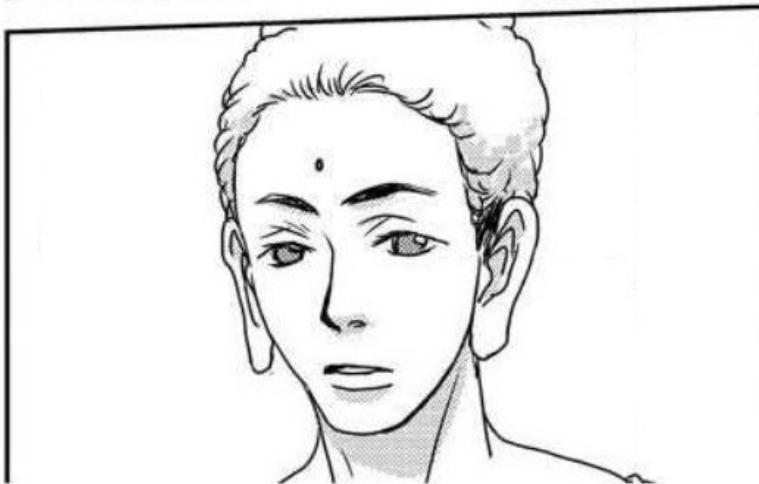
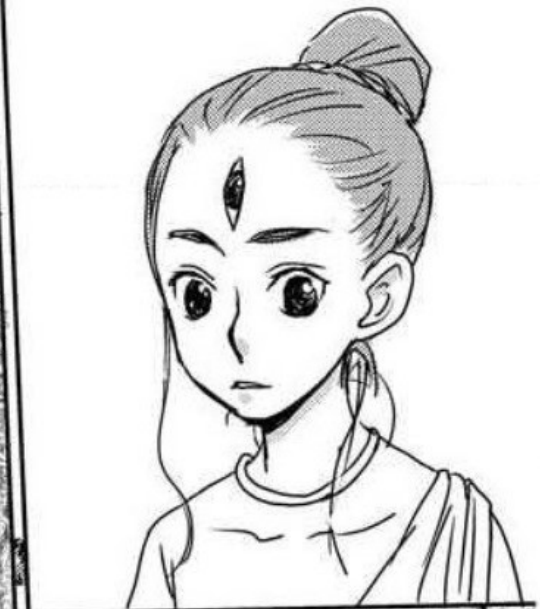
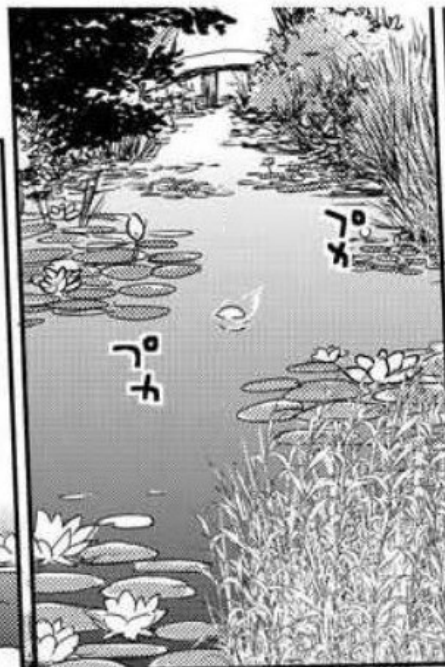


えろ♥めるへん

西遊記外伝

水恋華

すい れん か





オーン
ओम
देवखट्टया
वदिमहे
माहादेवाय
वासुदेवाय
धौमहि
तन्नो
कृष्ण
प्रचोदयात्

ओम
देवखट्टया
वदिमहे
वासुदेवाय
धौमहि
तन्नो
कृष्ण
प्रचोदयात्



ओम
देवखट्टया
वदिमहे
वासुदेवाय
धौमहि
तन्नो
कृष्ण
प्रचोदयात्

これはまだ

孫悟空が
三蔵法師と出会う前
天界で大暴れしていたころの
お話…



小僧つ子を
出してくるとは
天界の人事も
尽きてきたか!

托塔天王 三男
哪咤太子

ほざけ!
貴様こそ妖の分際で
ここまで神々を愚弄して
タダで済むと思うなよ!



せいばい
成敗して
くれるッ！



じろまろ
二郎真君も
見ている…



あな
あな
あな

こころ
負けられせん!!!



きんとん
筋斗雲！



さーてっ！
なんぶん
何分もつかない？

その大口
いつまで
叩けるか！





ずーん



ミカツ



哪咤
まだ落ち込んでるのか？

そう落ち込むなよ
あいつには
托塔天王だって
手を焼いてるぐらい
なんだからさ

初陣だった
あけだし



木叉：
クソ猿は：
どうなった？

ああ：
二郎真君が
なんとか
捕えたよ



二郎が！

だいぶ手こずったが
なんとか捕まえて
今は八卦炉に放りこんだ
ところだ

さすがに
不死身といえども
金属も溶かす
八卦炉に入れたら
三日ともたぬだろうよ

ケケケケ

太上老君が
新しい金丹と絡に
練ってるってイキ
まいてたぜ



真君は
いま 灌江口で
祝勝の宴を
やってる
お前も行ったら
どうだ

どのツラさげて
会いにいけとっ!

二郎が恋しくて
女体化までしたと
いうのに?

親父殿だつて
しらいでか
だからいままで
元服もせず
頑張っておるの
だろう!?

一途な
ものよの!

!!!

やめろっ!

生臭坊主!

なんとでも





こっ
このたびのご武運
真におめでとう
存じます

そんなに

むい

あーよいよい
心にもないこと

惜しかったな
相手がアレじゃ
なかったら
勝てたろうに

托塔天王も
意地が悪い
初陣にあんなのを
当てさせるとは

ふう

な

な

な





勝って…

本当は
勝って会いに
きたかったんだ

どうした？
元気ないな？
久しぶりに
会ったというのに



ちゃんと
一人前と認めて
もらえるように
なってから…



ぬがせ！

ごめん

ごめん
ってば

お前が
そうやって
子供扱いするから
私はっ！

それじゃ
あと何百年
かかるんだか

カカカカ



おーい
きーん
きーん





相手が
悪かっただけで
堂々とした
戦いっぷり
でしたわ

おお
哪咄太子様！

お久しぶりですな
今日は無礼講
ですぞ！

さあ
あちらに

二郎どのー
どちらへ行って
おくれたのだい



あのにつくき
猿めのせいで
大事な蟠桃会が
台無しになって

まことに！
金丹も
一粒残らず
平らげたとか…

だから
あんなに
頑丈だった
のか！



真君様
もう一杯
どうぞ

ああ

西王母
さまからの申しこいおますよ



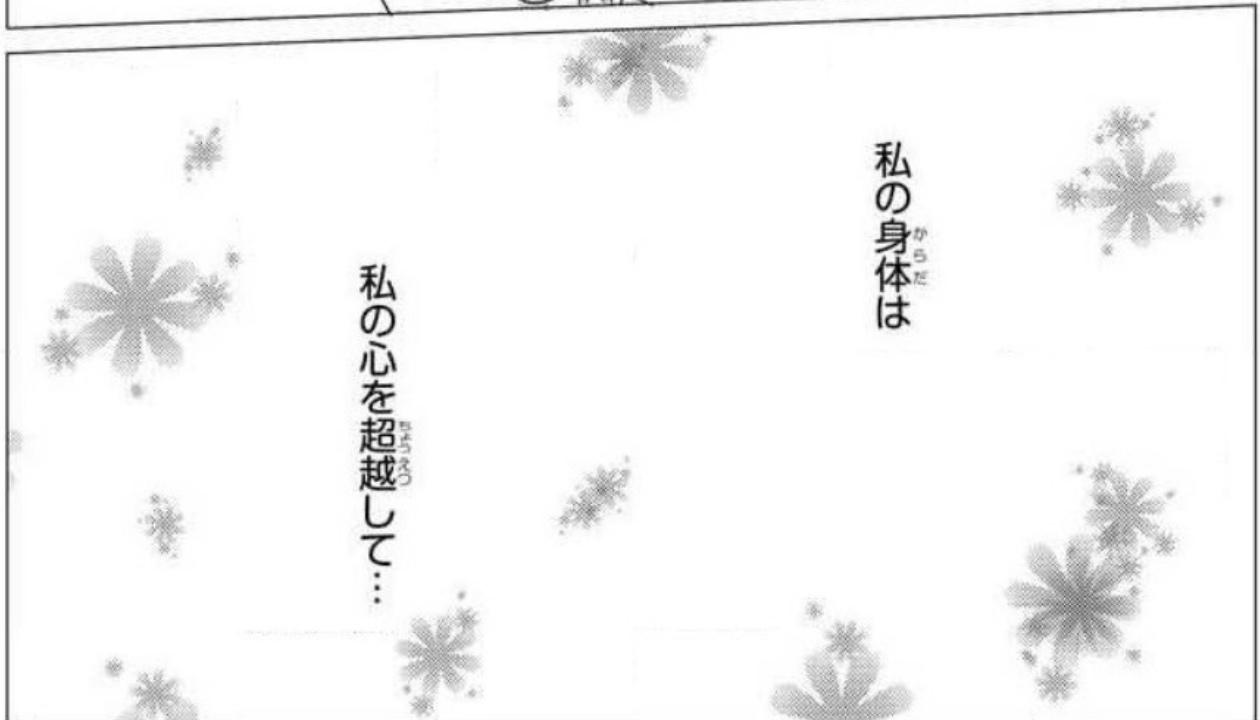


いつからだろう
二郎真君を
愛しく思うように
なったのは…



もう
覚えていない昔から…

想いは
少しずつ積み
もり



私の身体は

私の心を超越して…





みみみみみ



まがー！まがー！



見てないっ
お前はなににも
見てないよな！

み？

あわてるな
なにもしてない
として尻が
丸見えたよ



触った！
触ったんだ！

アホ拔かせ
あんなマシユマロ
みたいな胸筋あるか



なんだ？
お前のDカップの
ことか？

ははは！
すごい胸筋だろう！
鍛えたからな！







逃げるな

あん
やだ
みみ…

311



もっと
可愛い声
聞かせて

あ

やあ

あつ



私のことを想って…
女体化したと
思っているの？

はっ

あつ



…







じろう...

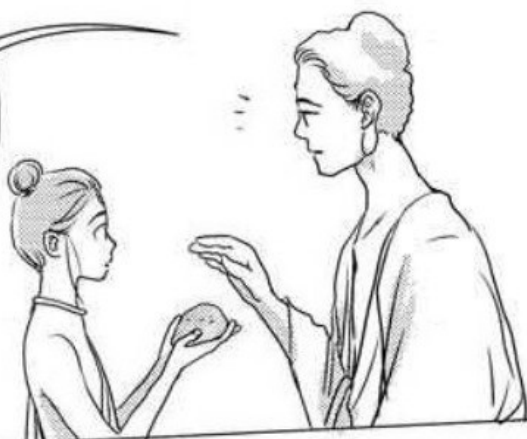
すき...

好き...!!

お釈迦様あ
この子を
助けてください



この子は
毘沙門天の娘
じゃないか…



たいへん醜い
肉塊として
生まれてきたと
いう



海で湯浴み
していたら
東海竜王に
嘲笑われた
らしい

それを怒った
その娘は
無様な姿のまま
竜王の娘を
殺したのだ



なにっ
竜王の娘を
殺したと！



さらにそのことを
父の毘沙門天は
怒った

なんて
無様な姿の女だ

どれだけ洗っても
我が娘のようには
なるまいっ



醜^{みにく}いだけなら
まだしも
なんてことを
してくれたんだ！

女のくせに！

わしは本当は
男子しか
いらぬのだ！

ならば私は
私のこの体を
引き裂いて
詫^{わづ}びましょう！

そんな…
はじめに
怒^{いか}らせたのは
竜王^{リウオウ}じゃないか

だからと言って
殺^{ころ}していいわけでは
ありません

お釈迦^{しやくさ}様
どうか助けて
あげられませんか？
この子だって
悪いと思^{おも}ったから
自害^{じがい}したのでしょう？

そうですね…
ここまで
流れ着^{ながれ}いたのも
縁^{えん}でしょう

好きな形に
なれるよう
手助けして
あげましょう





本当の
女の子として
愛してあげよう

本当の君^{きみ}を
知ってるのは
私だけなんだから



本作品を無断転載・複製・複写・翻訳は
著作権法上の例外を除き、禁じます。

作者へのお手紙はこちらまで★

〒162-0844

東京都新宿区市谷八幡町 14 番地
市ヶ谷中央ビル 3F

株式会社 ZITTO
出版部